

平成31年(2019年)3月7日(木曜日)



三島市のNPO法人が地域ブランド化を目指し初めて収穫した地元産米の試食会を開いた。私もお相伴にあずかり、高い香りと豊かな甘みを堪能した。

稲は世界水遺産である源兵衛川の水で育ち、ブランド化がうまくいけば「世界水準の米」をうたえる。大量栽培ともなれば耕作放棄地の解消に

### 地域ブランド化と本気度

つながるから、取り組みは単なる地域の話題づくりに収まらない、社会性を併せ持つことに気づく。

試食会では地元中郷用水土地改良区理事長の白井幸太郎さんが、商品化を見越してパッケージの試作を持ち込んだ。これには周囲も「随分気が早い」と苦笑い。しかし同時に、氏の本気度に感服した雰囲気にもなった。

(三島支局・河村英之)